



今を大切に 未来に希望を ～ひとりひとりの心に寄り添って～ 芝田ひろみ

平成 15 年、鎌ヶ谷市議会議員に初当選以来、鎌ヶ谷市が抱えるその時々の課題に対し、全力で取り組んでまいりました。この間、鎌ヶ谷市議会初めての女性議長も経験させていただきました。

街づくりに携わる者として、私がおっとも大切にしたいこと、それは、お年寄りから子どもまで、すべての人が支え合いながら、安心して暮らせる街の実現、そして未来に向かって発展し続ける希望のある街づくりです。

市民の皆さん、ひとりひとりの心に寄り添いながら、今を大切に、そして未来に希望を持てる街づくりを目指し、全力で取り組みます。

芝田ひろみ

《緊急に取り組む 3つの事業》

1. 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症は、感染拡大を繰り返しています。命と暮らしを守るため、感染予防対策に全力を尽くすとともに、コロナ禍で影響を受けた市民や事業所に対する支援を行います。

◎コロナ禍で大きな影響を受けた市内企業への支援

◎行政手続きの電子申請などデジタル化の推進

◎生活困窮世帯へのきめ細かな支援

◎必要とする方へのPCR 検査費用の補助



◎医療機関と連携し、コロナワクチンの計画的な接種の推進



2. 子育て世代への支援

未来を担う子どもたちの健全な成長のため、経済的負担の軽減を図ります。

◎多子世帯の保育料や給食費の負担軽減

◎子ども医療費の助成対象の段階的拡大(高校生まで段階的に拡大)



3. 北千葉道路の整備を見通したまちづくり

令和 3 年度、国の権限代行による北千葉道路の整備が始まりました。鎌ヶ谷市のまちづくりにとって、大きな影響を与えることから、将来を見通したまちづくりを進めます。

◎北千葉道路沿線の土地利用などの整備構想の策定

◎北千葉道路鎌ヶ谷区間の早期整備に向けた国、県への要望などを含めた活動

◎市民生活の利便性を高めるための事業手法の検討



芝田ひろみ 市議会議員5期 18年間の実績

芝田ひろみは、議長在任中の2年間及び新型コロナウイルス感染症対策のために一般質問が中止となった令和2年3月会議を除き、すべての会議で一般質問を行いました。その中で、提言し実現に至ったものは次の通り各分野にわたっています。

◆新型コロナウイルスワクチン接種に向けた体制の強化(対策室の設置等)

◆特定保健指導の推進のため受診料の負担を500円(ワンコイン)に軽減

◆保育所待機児童解消に向けた施設整備

◆小中学校トイレの洋式化の早期実現(R3年度末見込み小学校100% 中学校61%)

◆学校体育館・武道館に大型扇風機の設置

◆小中学校の楽器更新の予算を新たに毎年度計上

◆アレルギー除去食の提供及び品目の拡充

◆新鎌ヶ谷西側地区都市計画道路の事業



◆生産緑地地区の面積要件の引き下げ(500㎡から300㎡)の条例制定

◆通学路への防犯カメラ設置
庁用車へのドライブレコーダー設置

◆防犯灯や道路照明灯などをLED灯に切り換え

◆パスポート発行を市役所で開始

◆住民票などのコンビニ交付実施

◆電子入札の実施

◆女性職員の登用推進

(R2年度女性管理職比率は県内37市中第1位)

◆市役所職員の初級職員採用試験の実現

1 子育てがしやすいまちづくり

妊娠、出産、子育て、学校教育に至るまで、切れ目のない支援を展開し、子育て世代の流入促進を図ります。特に、女性の社会進出と活躍を推進するため、保育園及び放課後児童クラブの待機児童ゼロ対策を継続します。また、子どもの健やかな成長に適した教育環境を確保します。

◎児童虐待防止のために、鎌ヶ谷・松戸地区への児童相談所の早期設置

◎東部地区児童センター建設
◎子ども医療費助成の段階的拡充

◎通学路整備事業
◎少人数教育・特別支援教育の推進

◎小中学校トイレの完全洋式化
◎小中学校 ICT 環境の整備

◎保育所待機児童ゼロのための保育所整備
◎放課後児童クラブの拡充



2 お年寄りや障がいを持っている人が安心して暮らせるまち

高齢者や障がいを持っている人が、生きがいを持って社会に参画し続けながら、住み慣れた地域で生活が送れるよう、行政、医療機関、介護施設、地域住民などが連携し、支え合える仕組みを構築します。

◎高齢者の就労促進や社会参加の機会拡充

◎医療、介護の連携による地域包括ケアシステムの構築

◎地域福祉活動を担う人材(ボランティア)の育成



◎障がい者の医療費助成や自立に向けた生活支援の推進

◎特別養護老人ホームの増床



芝田 ひろみの

《まちづくり5つの政策》

3 災害に強い安全、安心なまちづくり

市民の生命、身体、財産を災害から守るため、災害の最小化（減災）、地域防災力の向上などに取り組み、防災対策の強化を図ります。



◎空き家等対策事業の推進
◎二和川バイパス拡幅工事の推進

◎木造住宅耐震工事の促進
◎地域の災害拠点となる自治会集会所の整備助成

◎避難行動要支援者支援制度の推進
◎洪水ハザードマップの更新

◎大柏川第二調節池、串崎新田貯留池の整備

◎避難所運営体制の強化（避難所運営委員会の設置促進）



4 にぎわいあふれる発展し続けるまち

躍動感と魅力あふれるまちを目指して、道路や鉄道等の都市活動を支える社会基盤を整備します。特に、地域の活性化の鍵となる北千葉道路については、その整備促進を図ります。

◎東京10号線延伸新線跡地を活用した企業の誘致や新鎌ヶ谷駅と北初富駅を結ぶ緑道整備

◎新鎌ヶ谷西側都市計画道路の整備促進

◎北千葉道路の国直轄工事による整備促進

◎新京成線側道の整備

◎下水道整備の促進

◎初富駅、北初富駅の駅前広場の整備着手

◎市道整備

◎交差点改良事業の推進

◎新鎌ヶ谷地区西側の整備構想策定



◎鎌ヶ谷産農産物のブランド力の向上



5 緑にあふれ、豊かな産業が育つまち

既存商工業の振興を図るとともに、企業誘致などによる雇用機会の創出、経済の活性化を図ります。また、貴重な緑を保全し、梨や野菜などの地域資源の認知度向上と販路拡大を目指します。

◎商工会と協力、連携した商工業振興への取組み

◎農業担い手の育成
◎農業と福祉の連携推進
◎空き店舗の活用

◎企業誘致の推進
◎生産緑地の保全
◎ふれあいの森の保全・整備

◎子どもからお年寄りまで楽しめる公園遊具の整備

